広報かじき

No.277
昭和53年 4月号

発行／加治木町
編集／総務課
印刷／吉屋印刷

ひなじょ踊り

〽踊れば、はなじや　踊らにゃ、損んじゃ……

幼女も少女も無心に踊る（隈原、提水流部落の子供会）

◆メモ　人口／21.638　男／10.288 女／11.350　世帯／6.972　（昭和５３年３月１日 現在）

躍動する文化的居住都市めざし

（施政方針）

昭和53年度 一般会計 22億9,160万円

定例第1回　本　会　議　場

三月十一日に開かれた昭和五十三年、第一回定例町議会で、東町長は「町民の総参加と、その総智総力を結集して策定した総合振興計画の指標である、市民生活が躍動する文化的居住都市になるよう、地域社会各面の基盤強化を進めたい」として所信表明を行った。

施政方針の要旨は次のとおりです

民間需要の盛上り乏しく 雇用情勢は悪化

わが国の経済は、昨年の前半にいく分かの立直りの非をみせたものの、民間需要は盛上りに乏しく、雇用情勢は悪化の傾向にあります。こうした情勢に対して、昨年秋に総合経済対策等を決定し、景気の着実な回復が図られたが、その後の急激な円高傾向も加わり、景況感の悪化など国内経済への影響が生じたため、五十三年度へかけての持続的な景気回復を図ろうと十五か月予算の考え方のもとに、公共事業等の追加を内容とする第二次補正予算を編成する等、財政主導による冷え込んだ景気の浮揚策がとられたことはご案内のとおりであります。

しかしながら、五十二年度末における経済成長率は実質、名目ともにその目標を大幅に下廻る、実質五・三パーセント、名目一一・一パーセント程度が見込まれるようであります。

また、卸売物価は国内需給が緩和基調にあることや、円高傾向の影響などから安定しており、対前年比〇・六パーセント程度の上昇が見込まれ、消費者物価も卸売物価の鎮静化などの関連で対前年比七・六パーセント以内の上昇にとどまるものと見込まれているが、民間の経済活動は活発化せず、雇用面などの回復の遅れが目立っております。

以上のような経済情勢のもとに、本町の昭和五十三年度予算編成方針の大綱について申しあげます。

生活関連施設の計画的整備充実を

予算編成にあたりましては、国の経済情勢及び予算編成方針等の動向に留意することは勿論、さきに策定されました町の振興計画基本構想なり、基本計画及び之に基づく実施計画を基調とし、議会、住民からの町政に対する要望などにも極力配慮を加え、計画や要望を実現するよう検討いたした次第であります。

何分にも長期に及ぶ不況下でありますし、また、きびしい地方財政事情では意の如く参りませんで大変心苦しく存じている次第であります。ただ私といたしましては町政をあづかるものといたしまして、町民の総参加とその総智総力を結集して策定した、総合振興計画の指標である、市民生活が躍動する文化的居住都市、即ち便利で暮しやすい生活・文教・福祉・産業の都市になるよう、地域社会各面の基盤強化を進めて参る要があると確信する次第であります。

あらゆる面の基盤強化のためには、計画行政の推進を必要とし、同時に財政の健全化のために財政運営の基本である一般行政経費の節減なり、予算の重点的配分と財源の充実確保が大事であります。

私は、このことを今後の町政の重要な課題であると認識して、最大の努力をいたしまして、本町将来像の一つ一つを実現し、もって私に与えられた使命を遂行して参りたいものであると考えているわけであります。

かような観点に立って生活関連施設の整備充実、具体的には教育の振興、教育施設の整備、都市計画事業で行う木田本通り線や、各地区の町道、農林道、都市排水等の整備、住宅建設や交通安全施設、それに保健衛生、福祉、産業経済等の振興。更には十三塚原畑作土地改良事業から国・県・企業・団体等の行う事業の推進に至るまであらゆる面について計画的に取組んで参る所存であります。

そしてまた、各種機関団体の育成面においても、国・県の施策と合せ、或は実状を勘案しながら施策を進めて参りたいと思います。そして昭和五十三年度の一般会計予算を編成しました。

議会の皆さまをはじめ、町民各位のご理解とご協力を切にお願い申し上げる次第であります。

歳入歳出予算の内容説明

昭和五十三年度の一般会計歳入歳出予算額は二十二億九千百六十万円で、これを歳入予算事項別および歳出予算性質別に大別すると次のとおりです。（千円以下省略）

歳入予算事項別

町税	五億九、〇〇七万円
地方譲与税	二、七三〇万円
娯楽施設利用税交付金	一、二六〇万円
自動車取得税交付金	一、五〇〇万円
地方交付税	七億二〇〇万円
交通安全対策特別交付金	四三〇万円
分担金及び負担金	三、一三二万円
使用料及び手数料	

↑(3)頁へつづく

↓(2)頁より

国庫支出金	五、七七六万円
県支出金	三億六、〇七〇万円
財産収入	九、三四六万円
繰越金	五一六万円
諸収入	三万円
町債	一億九、二九七万円
	一億九、八九〇万円

歳出予算性質別

人件費	七億三、〇六〇万円
扶助費	二億〇、五二二万円
公債費	一億六、三八七万円
物件費	三億六、〇七二万円
維持補修費	二、〇八七万円
補助費等	二億〇、二八八万円
積立金	三二〇万円
投資及び出資金・貸付金	八七三万円
繰出金	六二〇万円
普通建設事業費	四億九、六六六万円
失業対策事業費	七、一三五万円
災害復旧費	一、八二六万円
予備費	三〇〇万円

議会費

五千百九十五万四千円を計上、前年度より一四・二パーセントの増。その主なものは議員・事務局職員の人件費や物件費等です。

総務費

総額三億一千六十万二千円で、前年度に比較して一一・五パーセントの伸びとなります。その主なものは、三役、職員をはじめ関係各種委員や行政連絡員の人件費二億三千三十五万二千円、物件費五千五百十万八千円、補助費等一千百九十六万八千円、普通建設費九百三十七万三千円が主なるものです。

施政方針説明の東町長

民生費

総額四億九千七百九十三万一千円を計上、前年度より一億四百九十九万円の増で二六パーセントの伸びを示しております。主なものは、人件費をはじめ各福祉団体の補助金など二千八百三十八万四千円。今年新しく設定した障害福祉費七百九十三万三千円、老人福祉費一億六百三十六万二千円、国民年金事務費一億八千百四万七千円、母子福祉費一千百九十五万円。児童福祉施設費では人件費をはじめ公立、私立保育所に対する扶助費等一億一千四百八十六万六千円。児童措置費では扶助費二千九百四十万円が主。

衛生費

一億二千四百九十六万円を計上前年度より四千九百九十七万一千円の増。これは厚生省からの指導により保健婦の人件費と、辺川、西別府南部地区の簡易水道施設繰出金等の増が主。各種予防接種に必要な医師、看護婦の賃金や結核成人病等の検診委託料及び霧島伝染病棟組合負担金など一千五百六万四千円、西部衛生処理組合負担金四百三十二万八千円、町営温泉の維持運営費八百五十四万円、塵芥処理費六千四百四十三万二千円など。

労働費

八千二百八十六万円を計上、前年度より六百五十七万九千円の減。これは人事異動に伴う人件費と資材、機材購入費の減による。一般失業対策事業費の賃金、原材料費とダンプカー一台の購入費等が主。

農林水産業費

一億二千六百二十五万五千円を計上、前年度より二千百七十一万七千円の減。これは団体営農道舗装費や職員の異動等による人件費の減によるもの。農業委員会費一千八百四十万四千円、農業総務費二千三百五十三万一千円、そのほとんどが人件費と負担金。農地費二千四百五十二万三千円、うち県単土地改良事業として伊部野線など工事請負費九百二十万円、十三塚原土地改良区運営費補助や小規模土地改良事業補助など負担金補助一千百九十六万三千円。

団体営農道整備費は川床地区で昭和五十一年度を初年度とし、今年は農道延長七〇〇メートルを計画一千七百三十万円、それに伴う田地購入費百三十万円、本事業や竜門地区農道舗装事業の利子補助三百十八万七千円。第二次林業構造改善事業費一千六百九十万八千円、主に井手向線、飯森線、高倉線が見込まれている。

商工費

一千八百九十七万三千円を計上前年度に比較して二百七十九万円の増。主なものは人件費七百六十七万九千円、商工会補助をはじめ借入金の利子補給三百二十一万五千円、貸付金七百万円が主。

土木費

三億七千四百二十万九千円を計上、前年度より九百九十二万九千円の増。これは機構改革に伴う耕地係職員増による人件費増を含む、臨時地方道整備事業費や橋梁新設改良費など。

主な事業として、特定交通安全施設整備を含む町道の局部改良費等二千十万五千円、道路舗装費一千六十万円、臨時市町村道整備事業として隈原線の改良費三千六百万五千円、橋梁新設改良費は鈴玉橋の工事費と委託料など一千五百万五千円を計上。都市計画事業費に七千七百七十万八千円、公園整備費一千四百五十万三千円、公共下水道整備費三百五十万円、これは事業実施に必要な概要設計の委託料。排水路整備費七百八十万円住宅管理費二千四百三十六万二千円、内黒川住宅白蟻駆除の委託料百十万円、営繕料三百六十万円など。住宅建設費は東蔵王に中層四階建十六戸を計画、工事費、用地購入費など一億百八十八万円、がけ下危険住宅の移転費四百六十一万八千円。

消防費

一億五百三十八万円を計上、前年度より二三・一パーセントの増、主なものは常備消防費の西部消防組合負担金七千五百四十三万七千円、非常備消防費として団員の報酬や手当、防火水槽の工事請負費など二千九百十五万二千円。

教育費

四億一千三百三十一万九千円で前年度より六千四百三十七万四千円の増。人件費一億九千五百四万円、物件費五千四百四十六万七千円、補助費等二千百四万二千円、普通建設事業費一億二千六百万三千円が主なるもので、柁城小学校と錦江小学校の新増築、錦江小学校用地取得が計画されている。

災害復旧費

五十一災の竹原川、五十二災の黒川他二件の河川災害復旧費一千三百八十八万八千円、地久里・市来原線他六件の道路橋梁災害復旧費四百三十七万九千円を計上。

公債費

一億六千三百八十八万八千円を計上、前年度より二千四百六十八万一千円の増。これは五十一年借入れの財政対策債及び臨時市町村道整備事業等の償還増によるもの。

農業委員会だより

裏作麦のあとを転作しても裏作麦奨励金はもらえるか

問 私は昨年十一月、水田のあと作に小麦を二反まきました。その後、町役場から転作についての説明があり、さらに集落での話し合いのながで、私はいまつくっている麦作の一部をそのまま米をつくらず転作するつもりでおります。ところが、その際水田裏作麦の奨励金がもらえないという話と、いやもらえるという話がでてよくわかりません。転作麦にすると水田裏作麦の奨励金がもらえないのでしょうか。もし、もらうには、どんな条件があればよいかを教えてください。(M県O生)

答 麦の生産振興をはかるため、すでに五十二年産麦から生産振興奨励金が基本麦価におりこまれるとともに、水田裏作麦奨励補助金が千円引き上げられ一〇アール当り六千円になったことはすでにご存知だと思います。

一方、四〇万ヘクタール近い大幅な米の生産調整目標面積が出され、その対応の一つとして五十三年産の水田裏作については、麦作付後のあと作に水稲をつくらずに休んだ場合でも転作とするという、いわゆる〝みなし転作〟を認めることになっております(五十二年九月二十七日農林省通達)

ところで転作に伴う水田利用再編奨励補助金は、麦については特定作物ということで基本額で一〇アール当り五万五千円(基準収穫量の平均)と、そのほか集落ごとに計画的に転作を行った場合(あなたの場合はおそらくこれに該当するとおもわれますが)は計画加算額が一〇アール当り一万円から二万円の範囲でもらえます。

では、どういう場合に水田裏作麦奨励金がもらえるかといいますと、同じ作物で別の奨励補助金はもらえません。つまり、麦で転作奨励補助金をもらい、さらに水田裏作付奨励補助金ももらうことはできません。

同じ作物で別の奨励補助金はもらえない

⊙そこで、いくつかのケースを考えてみますと、

①…麦作が米の場合=当然に水田裏作麦奨励金はもらえます。

②…麦作を休んだ場合=麦が転作作物となり転作奨励金(平均で五万五千円プラス計画加算)がもらえるので、水田裏はもらえません。

③…あと作にやさい、花きなど一般作物を作った場合=やさいの転作奨励金(一般作物で四万円、計画加算は七千円から一万三千円)と水田裏作麦六千円の両方をもらうことができます。しかし、それより麦の転作奨励金(五万五千円計画加算一万円から二万円)をもらった方が有利ですから裏作奨励金はもらえません。

④…あと作に大豆、飼料作物、そばといった特定作物を作った場合=あと作を転作作物として麦と同額の転作奨励金をもらい、麦については裏作奨励金をもらえます。

以上の四つの場合がありますが、転作では奨励金だけについてみれば④の特定作物をあと作につくったときが有利です。しかし、ほ場の条件や自然条件、あと作の収益性、労働力などを考えて決める必要がありますので、その際はやはり普及員や農協の営農指導員などに相談されるのがよろしいかと思います。

社会福祉協議会にボランティアセンターを設置

このほど県下全市町村に「ボランティアセンター」を設置することになり、加治木町でも去る二月二十八日、第一回運営委員会を開き協議の結果、ボランティアセンターを設置するようになりました。

「ボランティア」ということばは、一般には余りなじみのないことばですので、その意味と役割についてのべてみました。

「ボランティア」ということばは〝義勇兵、志願者〟ということから〝篤志奉仕家〟という意味に使われ…「自分の意志によって、自発的に施設などで奉仕活動をする人」と解されております。人によってはボランティアの性格を簡単に「福祉性」「自発性」「無償性」「継続性」をもつものと定義づけていますが、現在町内にもこんな意味でのボランティア活動はさかんに行われています。そこでこれ以上活動の輪を広めることによって社会福祉の増進につとめ、明るい社会、住みよい郷土にしようというねらいで組織されたものです。

地図と磁石で体力づくり

"サアー出発" 地図とにらめっこの女子組

一定の地域を地図とコンパス・磁石をたよりに山野を歩き、体力づくりをするオリエンテーリングは三月五日、五十九組二百人が参加して行われました。

この日は晴天に恵まれ、春の陽気を思わせる絶好のオリエンテーリング日和。集合場所にあてられた竜門小学校には、小学生から中学生、一般・親子組が集まり、主催者の説明のあと地図と磁石をたよりに三分おきに出発。七キロから九キロの距離を早い組は一時間二〇分、遅い組は三時間かかって全員事故なく完歩した。

成績は次のとおりです。

小学男子…①新和朗、榎谷茂浩 隈原伸一②城照行、上村光秋、樗木学③内村学、東隆輝、小宮路輝志。**小学女子**…①宮島智子、三村ゆかり、徳永りか②藤島ルミ子、渋谷恵子、加藤利枝子、犬童かおり③内村光代、浜田美保子、樗木あけみ、新富士美。**中学男子**…①西山秋広、長野稔弘、壱岐晃一郎②高田剛、小浜弘行、中尾匡秀、曲田幸一③本田親平、勝目恒尚、今西一郎、湯浅秀隆。**中学女子**…①内村みどり、内村淳子、内村かおり②宝蔵美知代、米森真知子、竹下由美子③境田律子、穂満五十鈴、豊村佳代子。**親子組**…①田中寅男、ミユキ②宮路義和、武彦③栄江正也、悦子、はつみ、孝幸。**一般**…①西村喜文、坂元和代②日高一男、加治木代里子。

話題

柁城小に体育館落成
演芸会とバザーで賑う

柁城小学校（三浦定雄校長・児童千四人）に新しい屋内運動場が完成、三月十九日落成式が行われました。

同校は二十五年前に建設された講堂があったが、それが老巧化し危険になってきたので、このほど増改築されたもの。

昨年九月から工費七千五百万円をかけ工事してきた。建物は鉄骨平屋建てのドーム型で面積九百四十五平方㍍。バレーコート一面、バドミントンコート二面がとれ、バスケット、低鉄棒、防球ネットなども備えられた近代的な建物です。

明るい立派な体育館

式には六年生児童、PTA、町関係者ら約百三十人が出席盛大に行われました。また、この日は落成を記念して、児童による演芸会と父母たちによるバザーも開かれ町内の商店も協力、三十分足らずで売り切れてしまった。

ダブル対局する原田氏（右）

アマ棋士 原田氏迎えて
歓迎春季囲碁大会

日本棋院加治木支部（大井千尋支部長）主催の春季囲碁大会は三月五日、竜門観光で七十人が集り郷土が生んだアマチュア棋士原田実氏（四二）を招き行われました。

原田氏はアマチュア十傑戦やアマチュア本因坊戦、学生本因坊戦など八回の優勝を飾っている。このたび墓参りのため十二年ぶりに里帰りしたのを機会に歓迎を兼ねて開かれたものです。

対戦は各ランクごとに分かれて試合開始。うち三、四段格の数人が原田氏と複数対局したが、地元勢は歯が立たなかった。

成績は次のとおりです。

【A級】①川畑政己（商業、五段格）②福田一也（公務員、四段）

【B級】①堂免昭典（教員、二段格）②篠崎利治（公務員、二段格）③牧元智紀（教員、初段格）【C級】①鰐石順朗（商業、七級）②中久保寛（農業、一級）③古郷俊彦（教員、一級）

二年連続の労働大臣賞
きんじす病の子供たち

今年もまた、全国心身障害者雇用促進協会主催による児童絵画展に、指宿養護学校加治木分校から二人が入賞。昨年の日本一につづく二年連続入賞に子供たちをはじめ分校では喜んでいます。

喜びの轟木君（左）と堂上君（右）

今回入賞したのは、労働大臣賞三席＝轟木敏秀君（中三）と職業安定局長賞＝堂上貴史君（中二）の二人。

とくに堂上くんは昨年、労働大臣賞一席という日本一に選ばれ、今回で二年連続の輝かしい入賞ぶりです。三年生の轟木君は「中学最後に入賞するとは思いませんでした。これが一生の思い出になります」また、二年生の堂上君も「二年連続入賞できたことは、うそみたいです。来年も皆んなとがんばります」とそれぞれ感想を話してくれました。

全国で出品された作品は二千百四十一点。鹿児島県から四点が入賞、うち二点が同分校です。

これからも身体の不自由さを克服して、がんばってもらいたいものです。

豊漁に喜ぶ家族連れ
にぎわった須崎海岸

今年も三月十九日、須崎海岸で貝堀りが解禁され、この日は朝から家族連れがくりだし、十時すぎには一千人をこえる潮干狩者でにぎわった。

錦江漁協（春山鉄翁組合長）がアサリやハマグリの稚貝二㌧を放流養殖していたもので、ことしは例年よりひと回り大きいものがとれ、一時間ぐらいで四㌔、五㌔も収穫する人が多かった。子供たちも水ぬるむ海辺でいっしょうけんめいに砂を堀り、大きめのハマグリを堀りあててはよろこびだった。

家族連れでにぎわった須崎海岸

なかには十㌔以上の豊漁に喜ぶ人もいた。

同漁協ではこれから夏まで、日曜と祝日を解禁日として開放する。入場料は大人二百円、中学生百五十円、小人百円。

一般町民による
自衛艦の体験航海

海上自衛隊自衛艦による、一般町民の錦江湾体験航海が三月十六日、加治木港で行われました。

これは福山町にある海上自衛隊鹿児島試験所の創設十周年記念の一環として実施されたもの。加治木港には町内をはじめ町外・県外から約一千人近い体験希望者が航海を楽しんでみようと参加、午前午後の二回に分かれて護衛艦「ゆきかぜ」一、七〇〇㌧に乗艦、一時間半にわたる海上からの景色を楽しみました。

町婦人会だより

県社会教育大会から

二月二十二日県の文化センターで開かれました。主題は〝明日を拓く社会教育〟前奏に轟太鼓、二千人の大合唱。

開会式―表彰式

第一部　われらの主張

①青年代表…「わたしの仕事と青年団活動」

②婦人代表…「わが家の家庭教育」

③高齢者代表…「わたしの生き方」

四十六歳で失明し、妻や子供や周囲の人の激励により絶望の中から、マッサージ師として再起し、人生大学に入学し、生涯教育と他の人への感謝の毎日の中に生きがいを見出しておられました。

第二部　活動の発表

①邦楽名曲…「お江戸日本橋他」

②詩吟…「偶感他」

③寸劇…「田植はんや節」

④器楽演奏…「青春時代他」

田代町ひまわり教室、婦人会員の寸劇「田植はんや節」や牧園町のロマンファイブの器楽演奏も、趣味を生かしたグループ活動が周囲に喜びと慰めを与えていました。

この喜びが生きがいであり、生きがいは与えられるものではなくつくり出すものです。

第三部　シンポジュウム

テーマ…生涯教育のあり方をさぐる。

●生涯教育の目的は人間の生きがいをつかむこと。

●社会環境が複雑で生きることが厳しくなり、生きる張り合いのない社会。生きがいを求めにくいために、快楽や物に走りやすいがそれでは満足出来ない。

●物による喜びは持続がない、精神的喜びは持続性がある。

●生きがいは、よりよく生きたいとの願いから生まれる。

●自分だけの生きがいを求めるのでなく、人にも生きがいと喜びを与える。

ゴミは決められた日の朝に出しましょう

町内各校区婦人会の総会と新役員

▽中野校区…三月十九日、旧中野小学校で、会員の八〇％出席。

会長＝永吉久子　副会長＝脇キミ子。

▽竜門校区…三月十九日、小山田公民館で。

▽錦江校区…三月十九日、錦江小学校体育館で。

会長＝小谷節子、　副会長＝鳥飼美智子

▽柁城校区…三月二十日、福祉センターで。

会長＝坂元ヒロ子　副会長＝丸野英子

▽永原校区＝三月二十四日、永原公民館で。会長＝東　のり子

副会長片ノ坂ナミ子

▽町連合婦人会…三月二十六日、福祉センターホールで。

以上のように総会を開いて参りました。現在、婦人会活動がむずかしい時を迎えております。しかし中野地区の婦人会の総会は地味な中にも、暖い心や人間関係あふれる総会でした。九時開会でしたが会員の方が八〇％集まられました柁城校屋体の完成のお祝いも重っておりましたが、松元議員さんは八時に顔を出され、また総会のすむ頃いらして下さいまして激励してくださいました。また公民館長さんも「一年しっかりやりましょう」と婦人会の役員を励まし協力してくださった一年だったようです。

婦人会の役員の方も働きながら役員をつとめられ、先輩の役員の方々も側面から加勢され、会員の方々も協力して地域づくり、ふるさとづくりに努力しておられます姿!!嬉しさでいっぱいでございました。地域総ぐるみでのふる里づくり!!今後をたのしみにしております。御発展をお祈りします。

町内の皆様お世話になりましたいろいろお励まし下さいました方御協力下さいました方、ありがとうございました。心からお礼申し上げます。今後もよろしくお願いいたします。

文化財めぐり

滝観音

高井田

竜門滝の滝壷の前面の上に安置されている。加治木島津家六代久徴（錦水）の時代建立されたもので、その背面に次のような詩が刻んである。

千尺嘆嵓瀑雪前　石鏘大士且蓮　寄言随喜群遊者　供与花花日擲銭

寛政十一年己未秋九月

錦水源天錫題

東海橘遊謹書

観龍門瀑布　源天錫

萬丈懸泉匹練開　銀河疑自九霄回　龍門真有虜山色　愧不謫仏飄逸才

竜門句会

二月尽仰臥の眼鏡胸におく　松永　愛子

緋のリボン胸にとめ合ひ卒業す　川崎　黒兎

散り尽し銀杏の樹齢かがやけり　横山　江南

啓蟄や老犬脚の傷舐めて　恒吉　斗南

芹摘みて展墓戻りの一握り　宮川　思川

待つことの楽しさ増して四温かな　田代　俊泉

茎立つや海辺の町のうす曇り　井之上透山

白木蓮の空のまぶしき昨日今日　鶴田　耕

海苔拾ふ渚の汐や陽の光　曽木　柳田

疾風やむ夕の梢かすみそめ　三浦　ゆう

心配ごと相談

毎週木曜日午前中福祉センターで相談をうけています。

どんな小さなことでも気軽におこしください。

"黄金週間と天国週間は紙ひと重"といわれています。それほど交通事故による死亡者が四月二十九日から五月五日にかけてのゴールデンウイークに集中するのです。楽しいはずのせっかくの家族ドライブが"天国への旅立ち"に終わったら――そうです、ハンドルを握る方はくれぐれもご用心を

交通事故

昨年は二三三人が命を落とす

四・五月の連休に

四月三十日（土）三十五人
五月一日（日）三十二人
五月三日（祝日）三十二人
五月五日（祝日）三十日

これは、昨年のゴールデンウィーク期間中の土・日・祝日の交通事故死者数（全国）です。

いずれも三十人を超えており、昨年一年間の一日平均死者二十四・五人に比べて五～十人も多い犠牲者が出ています。

この結果、期間中の死者は二百二十三人にものぼり、昨年中の一週当たり平均（百七十二人）に比べて、三〇％（五十一人）多くなっています。

また、犠牲者は、マイカー族に多く集中しています。

くれぐれも、楽しい行楽が一転して"死への旅立ち"にならないよう、ムリのない運転とスケジュールをぜひ心がけたいものです。

西日に向って走るな

＝事故原因を分析＝

行楽期の事故に多いのが、いねむり運転です。

家族を乗せて温泉旅行に行く途中、深夜、五時間以上も休みなしで運転したあげくに、駐車中のトレーラーに激突――など過労によるいねむり運転は、しばしば悲惨な事故を引き起こします。

近藤武・日本大学教授（人間工学）の調査によりますと、ドライバーが疲れていたり、睡眠不足のときに起きる交通事故は、正常時に比べて二倍も多くなっています。

ドライバーの眼球運動、脳波、脈搏、呼吸、血圧を測定した結果高速道路などで五分間以上一定の速度で走行すると、いねむり症状の初期の徴候が現れると指摘しています。

とくに西日に向って走る午後三時ごろは、大脳機能が低下するので危険です。いわゆる、目をあけたままいねむり運転するドライバーが増える、と同教授は警告しています。

疲れはててハンドルをにぎる――考えるだけでもゾッとするお話です。

土地や建物を売ったときの税金

土地や建物を売ったときに生ずる利益を譲渡所得といいますが、これには所得税がかかります。

所得税は一年間のいろいろな所得を総合して税金を計算することになっていますが、土地や建物を売ったときの譲渡所得は、他の所得と分離して税金を計算します。

また、土地や建物の取得の時期が、昭和四十三年以前か、それとも昭和四十四年以後であるかによって、長期譲渡所得と短期譲渡所得に分かれ、長期譲渡所得には軽く、短期譲渡所得には重く課税される仕組みになっています。

短期譲渡所得に重く課税されるのは投資による土地の売買を抑制すること、また、長期譲渡所得が軽く課税されるのは土地の供給促進を期待する政策的な目的によるものです。

詳しいことは、最寄りの税務署又は税務相談室にお尋ねください。

記事の訂正

本紙三月号（二七六号）七ページ。話題の見出し記事中、一九七七年度版町勢要覧を発刊。町内サッサー大会竜門チーム初参加とあるのは、一九七七年度版、町内サッカー大会の誤りでしたお詫びして訂正いたします。

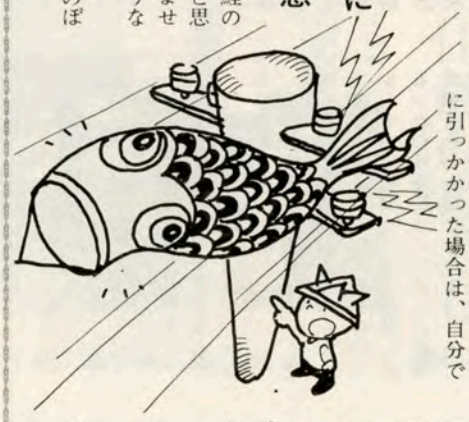
鯉のぼりが電線にふれないよう注意

さわやかな初夏の風物詩、鯉のぼりも電線の近くで泳がせると思わぬ感電事故につながりかねません。事故防止のため、次のようなことにご注意ください。

▼…電線にふれる場所に、鯉のぼりは立てないように。

▼…鯉のぼりの支柱を立てたり倒したりするとき、電線にふれないよう注意する。

▼…もし、鯉のぼりが電線、電柱に引っかかった場合は、自分で電柱に登ったり、物干ざおでとりはずしたりせず、すぐ近くの九州電力営業所へ連絡する。



香典返しを寄付

香典お返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申しあげますとともに、故人のごめい福をお祈りいたします。（）内は故人

＝町社会福祉協議会へ＝

一万円　辺川下　大園　安雄（ツマ）
二万円　天神　池田　テル（武二）
十万円　中汐入　奥村　義一（ふさ系）
二万円　東岩原　日高　フヂ（榮之助）
二万円　新町　別府不二夫（アサ）
一万円　丸岡　中森　孝一（イセチヨ）
三万円　楠園　今西　辰男（豊）
三万円　萩原　山上　貞光（クニ）
二万円　西汐入中鶴田　幸（美穂子）
二万五千円　宮田ヶ平坂元　セイ（徳左ヱ門）
三万円　札立　湯田　政子（木原ノブ）
二万円　新町　新原　チヨ（勇之助）
二万円　城田中　ユキ（厚行）

＝町育英奨学資金へ＝

一万円　西汐入中鶴田　幸（美穂子）

＝町国民年金協議会へ＝

一万円　岩原東　日高　フヂ（榮之助）
一万円　新町　別府不二夫（アサ）
三千円　東諏訪　渡辺　フク（愛之）

篤志寄付

三千円　柁城校区婦人会　会長久保光子

四月の在宅医

2日　平山医院　②二四六八
9日　玉利病院　②二三二八
16日　牧医院　③二二二二
23日　松本医院　③一九一一
29日　壱岐医院　②二二二二
30日　池田医院　②二二二〇

■…診療時間は午前九時から午後五時までが原則です。

■…当日の往診ならびに緊急以外の受診はご遠慮ください

史話③ 島津日新公いろは歌

宮内虎雄

へ…下手ぞとて我とゆるすな稽古だに。

つもらば廛もやまと言の葉。

自分は何をやっても、へただからできないとあきらめてはならぬ「ちりも積れば山となる」ということわざがあるように、一生懸命になってけいこを積んでゆけば、必ず上達することができるものであるから、自分からだめだと言って、あきらめるようなことをしてはならぬとの歌である。

昔、小野道風という人は、ある日、習字のけいこにあきて池のほとりにやってきてみると、一匹の蛙が池のうえにたれさがっている柳の小枝にいる虫か何かを取ろうと、何度も飛びつこうとして水中に落ちたが、いくら失敗してもこりずに努力した結果、やっと柳の小枝に飛びつくことができたのを見てはげまされ、一生懸命けいこしたおかげで、へただった字が立派に書けるようになり、日本で指おりの書道の大家になったといわれている。

これは何事をなすにも、忍耐と努力が肝要であることを教えたものである。

と…科（とが）ありて人を斬るとも軽くすな

活かす刀もただ一つなり。

罪を犯したものを殺さねばならぬ場合があっても、軽々しく決めてはならぬ。人を活かす刀も殺す刀も、ただ上に立つ者の心一つであるから、念には念を入れてあとで後悔することのないように、十分考慮せねばならぬとの歌である。

これは、上に立つものに対する教えであるが、大事な人の命を断つ場合には十分よく考えたうえで決行すべきであって、軽々しくしてあとで世間から非難を受けるようなことのないよう気をつけよとの教えである。

ち…知恵能は身につきぬれど荷にならず

人は重んじはづるものなり。

知能や芸能は身につけても、荷物になったり邪魔になったりするものではなく、かえって世間の人は、そんな人を尊敬し、自分の足りないことを恥ずかしく思うものであるから、人は一生懸命に知恵や芸能をみがかねばならぬとの歌であって、一般の人びとに対し知能をみがくように努力せよとの教えである。

日新公は、かねて一芸一能にひいでたものを士分に取り立てるなどして、たいへん重く用いておられたということである。